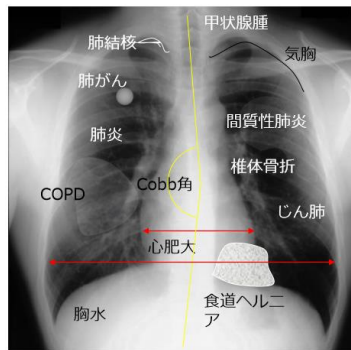




CXR Finding-iは、専門医のスキルを学習したAIが胸部X線画像を解析し、医師による胸部X線画像の読影補助ができるソフトウェアです。肺がんが疑われる所見である結節影、肺炎や結核などの所見である浸潤影の見落とし防止をサポートしてくれます。

胸部X線検査は、健診を含め非常に多く行われている検査でありながら読影が難しい検査でもあります。それは、肋骨や心臓など複数の構造物が重なり合っていることで読影の障害となっているからです。そのため、このソフトの病変検出のサポートを得ることは、臨床医師の読影力を補うツールとして有用です。医療安全の観点からも安心感が得られます。当院では、胸部X線画像の肋骨減弱処理とこのAI診断支援を合わせることで、画像診断に貢献できるように努めていきます。

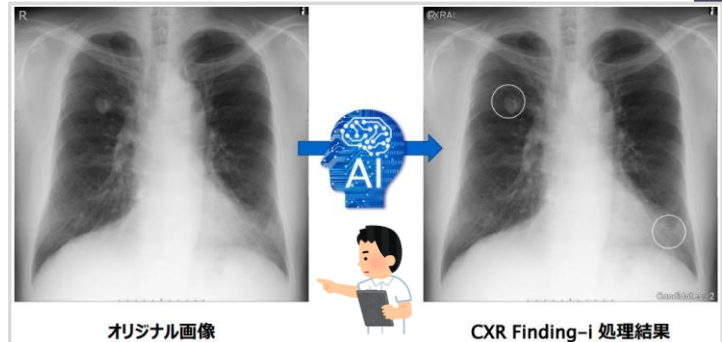


● 検査数が多い

- ・ 最も一般的な撮影であり撮影頻度が高い
- ・ 読影以外の「検査」利用も多い

● 読影が難しい

- ・ 情報量が多い
 - ⇒ 約80種類の病変パターン、約40種病変の推定を行う (人間ドックガイドライン)
- ・ 専門医以外の医師も読影を実施
 - ⇒ 整形外科、耳鼻科、循環器科等



胸部単純X線読影時の問題点

肺野の70%にオーバーラップする鎖骨/肋骨により病変を見逃しやすい

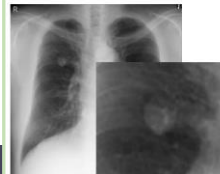
胸部X線画像診断支援 AI

CXR Finding-i

病変検出能UP

【対象病変】

- ・ 結節影：直径5～30mm以下の類円形の陰影 (肺がんなどに代表される画像所見)
- ・ 腫瘤影：直径30mmを越える類円形の陰影 (肺がんなどに代表される画像所見)
- ・ 浸潤影：肺胞内への細胞成分や液体成分が入り込んで生じる境界の不明確な陰影 (肺炎や肺結核などに代表される画像所見)



結節影



腫瘤影



浸潤影